

水の館プラネタリウムインフォメーション

上映 星空解説「今夜、なにがみえるかな」(2019秋～冬)

秋の四辺形から星々をたどりながら、秋から冬にかけての星空をご案内致します。

上映期間:10月13日(日)～1月5日(日)まで

**上映 テーマ番組
「星空への招待」**

冬に向けて星がきれいに見えるようになっていきます。美しい天体を巡りながら、星の一生や天文現象などを紹介します。

上映期間:10月7日(月)～1月5日(日)まで

**event JBFイベント
＜ボサノヴァ星空コンサート＞**

プラネタリウムの満天の星の下、心安らぐボサノヴァに耳を傾けてみませんか？



歌・演奏:鈴木 美也子さん

日時:10月12日(土) ①11時～
②13時～※開演1時間前から発券
費用:300円 定員:各回先着50名
※当日、定時上映は15時、16時のみ。
問合せ:水の館 04-7184-0555



M1 ©NASA/ESA



M42 ©NASA/ESA



M45 ©ESA/ESO/NASA

定時上映

土・日・祝日(年末年始を除く)
テーマ番組:10・13・15時～
星空解説:11・14・16時～

団体上映

平日に限り、10名以上の団体はプラネタリウムを貸し切ることができます。過去のテーマ番組も上映可能です。

(要予約:2日前迄・水曜日および年末年始を除く)

●上映時間:各回ともに約20分 ●定員:50名 ●料金:高校生以上1回100円、中学生以下無料 ●プラネタリウムのお問い合わせ先:手賀沼親水広場 水の館
TEL:04-7184-0555 FAX:04-7185-5869

鳥の祭典 11月2日(土)、3日(日) ジャパンバードフェスティバル(JBF)開催！

Japan Bird Festival
ジャパンバードフェスティバル
2019 11月2日(土) 9:30-16:00
3日(日) 9:30-15:00



人と鳥の共存をめざして



全日本鳥フォトコンテスト歴代グランプリ作品 (文部科学大臣賞(注冊・行動部門)、環境大臣賞(環境部門)の欄)
2010: 浅草の朝人(ミサト) 鶴島(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大)
2011: 浅草の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大)
2012: 浅草の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大)
2013: 浅草の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大)
2014: 浅草の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大)
2015: 浅草の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大)
2016: 浅草の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大)
2017: 浅草の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大)
2018: 浅草の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大) 霞の朝(大)

＜ジャパンバードフェスティバル(JBF)とは＞
「鳥と自然を愛する人たちが、一堂に会する、年に一度のお祭り」です。
かつてはトキやコウノトリが暮らした、手賀沼を擁する千葉県の我孫子市が会場です。
当日は手賀沼親水広場や手賀沼公園でイベントが開催されるほか、山階鳥類研究所の公開や鳥の博物館の入館が無料になります。鳥グッズのお店やカメラ用品もずらり！ぜひ、ご家族でお越しください。

★第10回全日本鳥フォトコンテスト

・作品展:アビスタ ミニホールにて開催
・審査員による講演会:11/3 10:30～アビスタ ホールにて

★鳥学講座

「島の鳥類学-南西諸島の鳥をめぐる自然史-」
・11/2 13:30～15:30 アビスタ ホール

★大人気！船上バードウォッチング

・11/2 10:30 / 12:00 / 13:30 / 14:30
・11/3 10:30 / 12:00 / 13:30

・中学生以上:1000円、小学生以下:500円

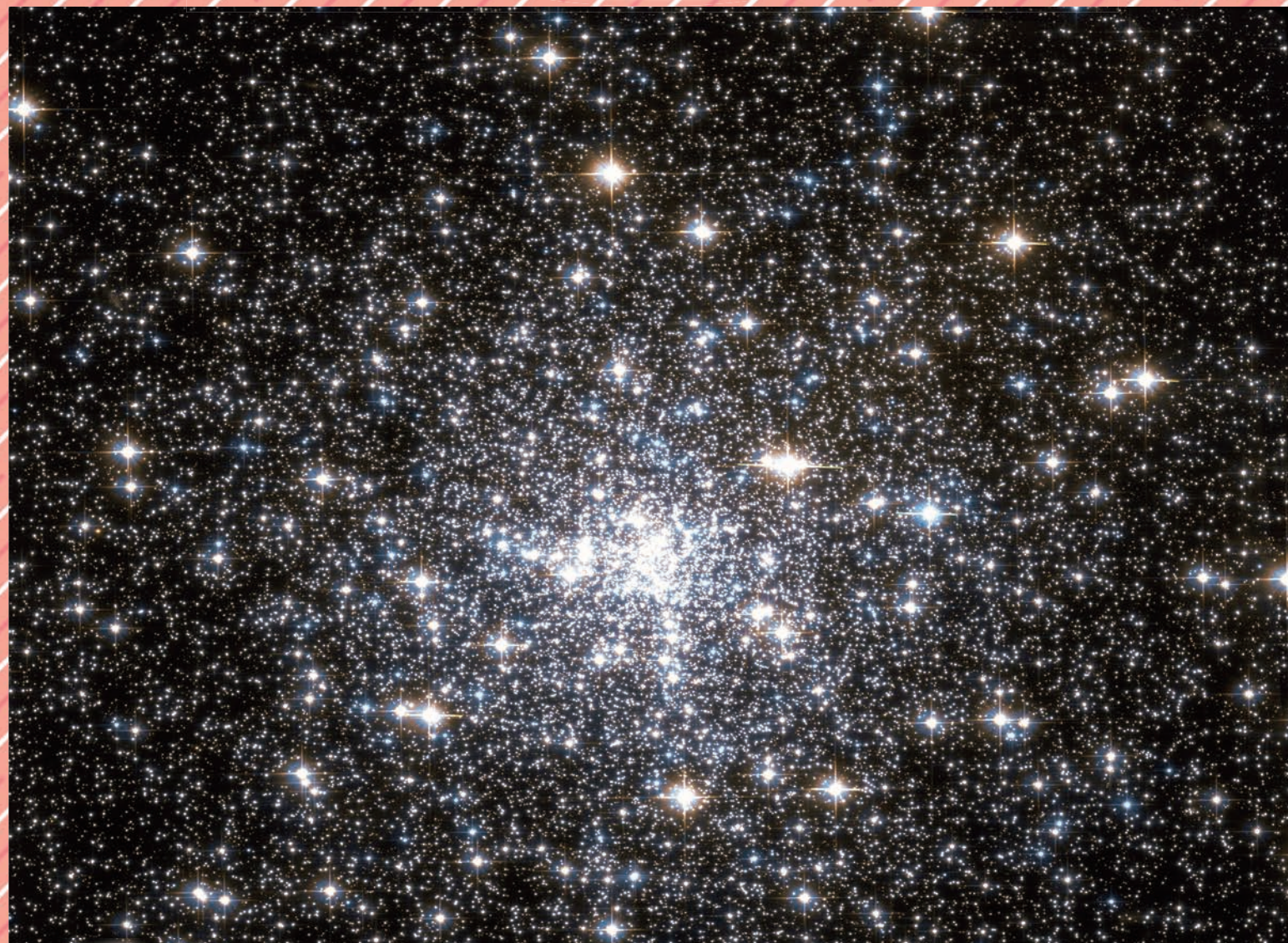
★お楽しみスタンプラリー！

景品とX'masプレゼント抽選つき！

問合せ(事務局)
土日祝日を除く8:30～17:00
04-7185-1484
開催日専用電話
070-3133-9069



～水の館プラネタリウムの番組と、この秋、我孫子で見られる星座の情報誌～



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎちゃん

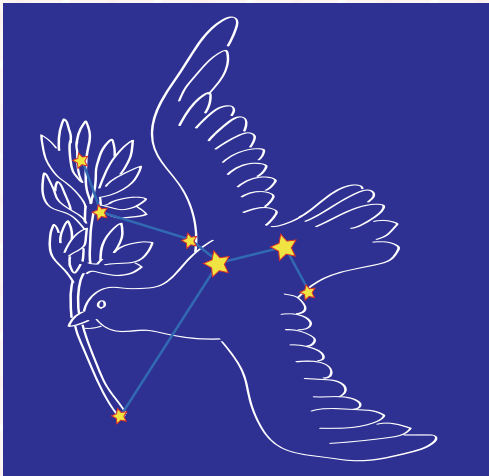
くじゃく座にある球状星団「NGC6752」とってもきれいな～。
双眼鏡でもぼんやりと見る事ができるうな～！

星座紹介コーナー ～この星座、知ってる？～

ジャパンバードフェスティバル【11/2(土)・3(日)】開催にちなみ、鳥の星座を紹介します！

今回は3つの星座ですが、他にも「からす座」「わし座」「はくちょう座」「ふうちょう座」「きょしちょう座」など鳥にまつわる星座がたくさんあります。

★はと座★



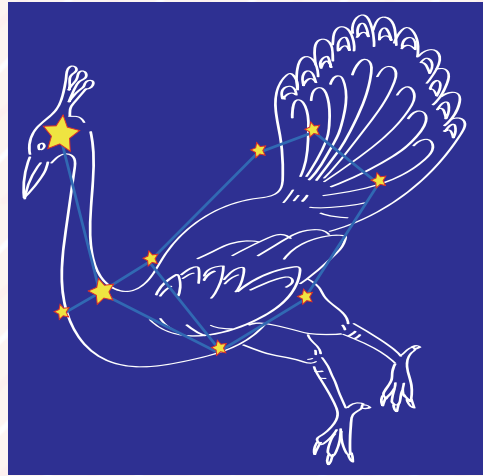
新しい星座なので神話などは伝わっていません。新しいと言っても1600年代から設定されており、ノアの箱舟に登場する鳩がモデルと言われています。長く続いた洪水の末、陸地を求めてノアが放った鳩がオリオンを啜って戻ってきました。そうして洪水がおさまったことを知らせた鳩を星座に見立てたようです。

★ほうおう座★



ほうおう(鳳凰)とは不死鳥のことを言います。10円玉に描かれている京都にある平等院鳳凰堂も、このほうおうが象徴となっています。海外では同じく不死鳥をフェニックスと呼ぶため、星座名もフェニックスとなっています。南の空にある星座のため、鹿児島より南でないと全体が見られません。

★くじゃく座★



南半球で見られる星座のひとつです。北半球の星座はギリシャ・ローマ神話に基づいたお話が多く伝わっていますが、南半球の星座には珍しいものや科学技術にまつわる星座がちりばめられています。くじゃくの美しさが天文学者たちにも伝わり、ひとつの星座にしたのでしょうか。

2019年秋～冬の天文イベント～星空を見上げてみよう～

日付	天文現象	説明
11/1	ミラが極大	ミラとはくじら座に輝く星です。この星は明るさが大きく変わる変光星として有名です。平均すると332日ごとに肉眼では見えない10等星から街中でも見ることが出来る2等星まで変化します。一生の終わりに近い段階のこの星が膨張と収縮を繰り返す不安定な状態にあるためです。11月初め頃に明るく輝く極大をむかえます。
12/15	ふたご座流星群	3大流星群のひとつで条件が良ければ1時間に50個程度の流れ星を見ることができます。しかし今年は下弦前の明るい月が一晩中空を照らしているため、見ることのできる流星の数は大きく減ってしまいます。それでもピーク時には最大で20個程度の出現が期待されています。
12/26	部分日食	午後2時半頃から太陽がかけ始め、3時半頃に太陽の3割ほどが月の影に隠されます。その後、かけたまま日没をむかえます。東京で見られる次の部分日食は2020年6月21日にありますが、その次となると2030年となります。貴重な機会なので注意事項を守りながら是非、観測してみてください。
1/4	しぶんぎ座流星群	ふたご座流星群、ペルセウス座流星群と並ぶ3大流星群のひとつです。12月末～1月12日頃まで比較的長い間、流星を見ることが出来ますが、1月4日の17時頃に見ごろを迎えます。時刻が夕方のため好条件とは言えませんが、普段よりは多くの流星を見ることが出来るでしょう。

星空ギャラリー(プラネタリウム横)

テーマ番組に連動して、星の一生をたどる美しい星々の世界のほか、今年の夏に我孫子市で見られたペルセウス座流星群の様子も紹介します。是非、親水広場で見られた流星の姿をご覧ください。

また、2019年12月26日に起こる部分日食のほか、ふたご座流星群やしぶんぎ座流星群の観測方法や注意点なども紹介する予定です。



天文ニュース

～はやぶさ2 小惑星へのタッチダウン成功～

2019年7月11日、小惑星探査機はやぶさ2が小惑星リュウグウへの2度目のタッチダウンに成功しました。特に今回は人工クレーターへのタッチダウン。表面の岩石ではなく、長く地中にあった岩石の採取に成功したことは科学的にとっても意義深いものとなりました。



星空ミニクイズ～鳥にちなむ星座はいくつある？～

空を自由に飛翔する鳥は、星空とも相性が良いのかもしれませんが。星空の神話にも多くの鳥が登場します。星座は全部で88個ありますが、鳥にちなんだ星座はいくつあるでしょうか？

①3個 ②8個 ③15個

さて答えは？水の館3階のプラネタリウム横のスタンプコーナーで説明しています。

2019秋のスタンプ

季節の星座スタンプをおしてみよう！
※スタンプはプラネタリウムの横にあるよ！